

いじら 伊自良の里・食と農推進協議会

地域資源：農林水産物、間伐材、空き家
 事業分野：食品、観光・旅行、教育、エネルギー
 事業主体：協議会、森林組合、大学

- 「伊自良の里振興協会」を中核として、NPO法人、農業法人、生産組合、女性グループ、青年団(地区外の若者が中心)等を構成員として協議会を設立。自然や食の活用や、都市との交流推進など様々な活動を展開。

基本情報

- 所在地：福井県福井市
- 選定表彰：
 - ・農林水産祭（むらづくり部門）大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞(R3)
- 主力商品：
 - ・河内赤かぶら
 - ・酒米
 - ・伊自良温泉
- 活用した支援施策：
 - ・都市農村共生・対流総合対策交付金
 - ・農山漁村振興交付金 など

取組の概要

- 農業ボランティアの受け入れによる伝統野菜の「河内赤かぶら」の栽培や地域の農業法人による酒米栽培を通じて、耕地の維持を実現。
- 女性グループ「上味みママーズ」をはじめとした地域の住民が「河内赤かぶら」の加工品を伝統的なレシピで製造、販売し、食文化の継承に貢献。
- 「上味みママーズ」が農家レストランを開設し、地域食材を利用した伝承料理を提供。
- 福井市内の酒造会社と連携し、酒米の契約栽培を実施。
- 伊自良温泉の加温に間伐材を活用し、適切な育林と地域活動を両立。
- 空き家を地域資源とし、外部人材向け居住環境や宿泊施設に有効活用。



河内赤かぶら



上味みママーズ



農家レストランの料理



若者による間伐作業

体制図

中核団体：(一社)伊自良の里振興協会

自然体験・農家体験
 NPO法人、農業法人、
 生産組合、個人農家等

農家民宿
 個人農家

農家レストラン
 女性グループ

温泉
 山郷コンシェルジュ

地域活性（イベント開催、伝統野菜生産、農地集積・管理）

青年団、女性グループ、自治会、生産組合、農業法人、個人農家

地域活動支援
 県、市、JA

取組の成果

- 移住者：27名（10年間）
- 耕地の維持、食文化の継承
- 農家レストランの開設
- 酒米の契約栽培：15.7t（R2）
- 間伐材の温泉ボイラーへの活用

ウェブサイト▶<https://www.ijira.jp/>

特定非営利活動法人 ピアファーム

地域資源：農林水産物
事業分野：食品・観光・旅行・福祉
事業主体：就労支援事業所、農林漁業者

- 後継者のいない農園等を引き継ぎ、観光農園の開設や果実加工品の製造・販売を通して地域の魅力向上に貢献。
- 農業の担い手不足を障がい者の就業で解消し、手作業の多い有機・減農薬栽培による農産物の高付加価値化を実現。

基本情報

- 所在地：福井県あわら市
- 選定表彰：
 - ・ノウフクアワード優秀賞（R2）
 - ・第4回「ディスカバー農山漁村の宝」（H29）
- 主力商品・イベント：
 - ・なし、ぶどう、果実加工品
 - ・観光農園での果実の摘み取り体験
 - ・市内外の農業者180戸が出荷する直売所
 - ・なしジュースやぶどう醸造に着手する
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金ソフト事業（農福連携対策・施設外就労コーディネーター養成）

取組の概要

- 農業に特化した就労支援B型事業所として、創設以来後継者のいない梨農園を引き継ぎ、周辺の耕作放棄地を再生し農地を集約。
- 約30名の障がい者の就労を支え、働きやすい作業工程による有機・減農薬栽培で、農産物の高付加価値化を実現。
- 1年を通して様々な果樹・野菜を生産。また、果樹加工品の製造・販売や農産物直売所の運営、観光農園の開設により、障がい者に安定した働く場と高賃金を創出。
- 地域と協力・連携した農業を行うことで、地産地消と地域のにぎわい創出のほか地域の農業の担い手としても貢献。



農直市場ピアファーム

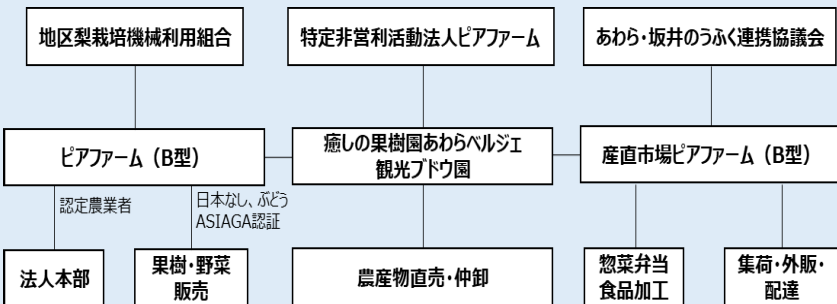


6次化商品のなしジュース



なしの収穫作業

体制図



取組の成果

- 農産物の売上：約1,600万円（H24） → 約4,000万円（R3）
- 観光農園への来客者数：約4,400人（R3）
- 平均工賃：約4～4.5万円/月
（R3年度就労継続支援B型全国平均工賃月額額は約1.6万円/月）
- 福井県内初となるASIAGAP認証の取得（対象品目：日本なし、ぶどう）

ウェブサイト▶ <http://www.peerfarm.jp>

- 「活性交流センターのむき風の郷」を拠点に、特産品であるエゴマや地元農産物を加工・販売するほか、食育活動やイベント開催を通じ、地元住民のまちづくり意識の醸成や交流人口の拡大等地域の活性化を実現。

基本情報

- 所在地：福井県勝山市
- 設立経緯
 - ・平成14年「勝山市エコミュージアム構想」で「野向町まちづくり推進委員会」がエゴマの特産化に着手。
 - ・平成28年に野向地区の全住民を会員とするNPO法人を設立。現在会員約600名。
- 選定表彰：
 - ・豊かなむらづくり全国表彰事業 北陸農政局長賞（R4）
- 主力商品・イベント：
 - ・エゴマ、トウモロコシ、サツマイモ、黒豆
 - ・のむき四季彩まつり
- 活用した支援施策：
 - ・福井県6次産業化推進事業（H24,H29）
 - ・地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業（H30（一財）地域活性化センター）

取組の概要

- 農産物直売所「活性交流センターのむき風の郷」を拠点に、地元農産物等の販売や住民の相互交流、地域情報発信等を実施し、持続可能な地域の活性化・再生に寄与。
- 昔から栽培されていたエゴマを地域特産として生産拡大するとともに、エゴマ油として加工・販売し、ふるさと納税返礼品としても活用。
- 保育園児や小学生の食育活動（トウモロコシ等の栽培）や、「のむき四季彩まつり（年4回）」での観光客の収穫体験により地域内外の交流を促進。
- 地元区長会と連携し、越前甲^{えちぜんかぶと}（別名・越前大日山）の登山道やトレッキングコースなどの環境整備を行い、地域の交流人口増加に貢献。



活性交流センター「のむき風の郷」



開発されたエゴマ油



子供たちへの食育活動

体制図

NPO法人まちづくりのむきの会 (地域住民全員で構成)

- エゴマ等の生産・出荷、加工品の製造・販売
- 直売所「活性交流センターのむきの郷」の運営
- イベントの企画・運営

【主な連携・支援機関】

- ・福井県食品加工研究所（エゴマ油の効能・商品開発）
 - ・長命会（老人会）体育振興協会、社会福祉協議会（四季彩祭り等）
 - ・野向区長会
 - ・越前甲トレイルクラブ事業・登山道整備
- ほか

取組の成果

- のむき風の郷来客数 : 7,600人 (R1) → 9,200人 (R5)
- のむき風の郷販売額 : 1,015万円 (R1) → 1,067万円 (R5)
- 四季彩まつり 来場者数 : 1,300人 (R1) → 1,700人 (R5)

ウェブサイト▶ <https://nomuki-kazenosato.com/company/>

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

地域資源：農林水産物、酒蔵、日本酒文化
 事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
 事業主体：宿泊施設、食事施設、体験施設、生産者、酒蔵

20-01

- 酒蔵に蔵人として宿泊滞在し、日本酒造りを体験できる世界初の酒蔵ホテル®を開設し、インバウンドを誘致。
- 佐久地域の新たな冬のキラコンテツとして、日本酒文化の神秘性、繊細な製造プロセスの魅力を国内外に発信。

基本情報

- 所在地：長野県佐久市
- 選定表彰：
 - ・「食かけるプロジェクト」2020食かける賞
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R3)
 - ・SAVOR JAPAN認定(R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・酒蔵ホテル®
 - ・日本酒造り体験 (2泊3日/ 10月～3月)
 - ・麴造り体験 (1泊2日/ 4月～9月)
- 活用した支援施策：
 - ・令和元年度 農山漁村振興交付金 (農泊推進事業、人材活用事業)

取組の概要

- 非観光地である佐久地域への来訪、宿泊滞在を促すため、蔵人体験プログラムは1泊2日または2泊3日にて実施。泊食分離で地域経済の活性化に貢献。
- 蔵人体験は英語同時通訳にて実施、ウェブサイト、セミナー資料等も全て英語併記。
- 酒蔵での本格的な蔵人体験 (2泊3日) の提供に加え、酒蔵契約農家と連携して「酒米づくりからの酒造り、酒蔵レストラン運営」をテーマにした年間プログラムも体験コンテンツ化し、日本酒ツーリズムを6次産業化として捉え他地域との差別化に注力。



蔵人として本格的な酒造りを体験する参加者



築100年の蔵人の宿舎を宿泊施設にリフォームした「酒蔵ホテル」



周辺飲食店で実施している着地型旅行商品

体制図

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

中核法人

宿泊部門

食事部門

体験・交流部門

その他

・橘倉酒造(株)
 ・(株)KURABITO STAY

・佐久ホテル
 ・KURABITO STAY

・お料理れもん
 ・ともせん手打処
 ・若松食堂
 ・ピックベン
 ・鳥忠食堂
 ・灯雲 (焼き鳥)
 ・クロワサンス
 ・ウマバル

・地域内の酒蔵 (日本酒セミナー、蔵見学)
 ・蔵元契約農家 (酒米田植え体験)
 ・お料理れもん (寿司握り体験)
 ・ともせん手打処 (そば打ち体験)
 ・ぬのや (着付け体験)

・行政 (広報支援)

取組の成果

- 蔵人体験人数：延320人 (R4年度 ※R5.3月時点)
- 国内在住の外国籍の顧客 (約1割) も含め、顧客満足度は高い (満足度100%)。R4年10月～インバウンド参加が増加、R5年2～3月はインバウンド比率50%達成。(世界16か国から)
- リピーターも多く、インバウンドリピーターも誕生している。

ウェブサイト▶<https://sakusake-tourism.com/>

この情報は令和5年3月時点のものです

稲倉の棚田保全委員会

地域資源：農林水産物、景観、文化
 事業分野：食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント
 事業主体：農林漁業者、JA、企業、大学、地域おこし協力隊 他

○「棚田米オーナー制度」のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」など消費者ニーズに合わせた農業体験コースを展開し、棚田の保全に加え、都市と農村の交流に取り組む。

基本情報

- 所在地：長野県上田市
- 選定表彰：
 - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 天皇杯、農林水産大臣賞
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・棚田米
 - ・体験観光事業
- 活用した支援施策：
 - ・県営中山間総合整備事業「殿城地区」
 - ・中山間地域等直接支払交付金
 - ・多面的機能支払交付金

取組の概要

- 減農薬栽培を行い、昔ながらの「はざかけ」でゆっくり天日干した棚田米を地元店舗や直売所等で販売するほか、上田市のふるさと納税の返礼品として提供。
- 棚田オーナー制度のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」や気軽に保全活動に参加できる「棚田ファン」など消費者ニーズに合わせた農業体験コースを展開。地元企業とのパートナーシップ協定も締結。
- 農閑期の棚田を有効活用した棚田キャンプやノルディックウォーキングイベントなど棚田の地形を生かしたイベントも開催、観光客を誘致。



棚田オーナーによる田植え

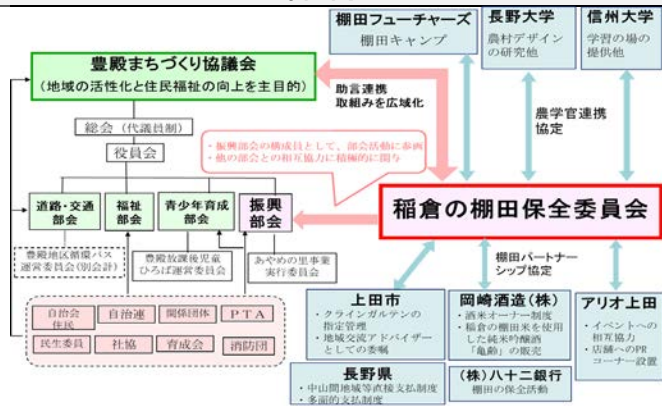


酒米オーナー制度



秋の田んぼでキャンプ風景

体制図



取組の成果

- 棚田米の販売額：300万円
- 棚田オーナー：70組 (H29) → 175組 (R5)
- 棚田キャンプ参加者：31組 (H29) → 97組 (R3)
- 棚田への観光客：年間2万人超

ウェブサイト▶<https://inaguranotanada.com/>